

令和6年度 近畿大阪高等学校学校評価

1 建学の精神と本校の教育目的

建学の精神
教育の目的は 人に愛される人 信頼される人 尊敬される人 を育成することにある
本校の教育目的
生命に対して深い畏敬の念や、社会人としての豊かな人間性と良識を持ち、広い世界観を持って社会に貢献する人材育成を目的とする。
1) 学業と仕事を両立し、社会を生き抜く力を育成する。
2) 他者の個性・特性を理解・尊重し、自己肯定感を育てる。
3) 社会に対する深い洞察力を身につけ、自ら将来を切り拓く力を育成する。

2 中期的目標

1 生徒の実態に応じた教育システムを確立する。 (1) 生徒並びに保護者が、相談しやすい環境を整備する。 (2) レポート等わからない問題について、気軽に質問しやすい環境を整える。
2 「確かな学力」を身に付けた上で、高校卒業資格を取得できるよう支援する。 (1) 各年次段階に応じて「確かな学力」が身に付くよう努める。 (2) 進路指導体制の強化により、進路実績の向上をめざす。
3 人権教育等を通して心の教育の充実に努める。 (1) 他者の長所と短所を受け入れ、個性等を理解する力を育成し、自己肯定感を高める。 (2) すべての命を大切にする教育を行う。
4 通学意欲を喚起し、生徒間の親睦並びに相互交流を促す。 (1) 生徒が、興味関心のある多様なトライアルアワーの開講に努める。 (2) 学校行事を通し、仲間意識の涵養に努める。
5 情報発信・広報活動の充実に努める。 (1) 生徒・保護者への、情報発信並びに情報共有に努める。 (2) 本校の教育活動を、近隣中学校に限らず、広く紹介出来る様な広報活動に努める。
6 安心して学校生活を送れる様、最大限の配慮をする。 (1) 防犯・防災教育の充実に努める。 (2) 安心・安全の学校生活と相談体制の充実と強化を図る。

[自己評価アンケートの結果と分析]

自己評価アンケートの結果と分析 [令和7年2月実施分]
【概括】 令和6年度の開校2年目当初、117名（1年次生47名・2年次生44名・3年次26名）の生徒数であった。12月まで転編入で毎月生徒数が増加して、年度末には、144名（1年次生65名・2年次生51名・3年次28名）の生徒数になった。開校2年目ということもあり、教員の生徒対応もスムーズにできた感があるが、生徒数の増加に伴い、課題のある個々の生徒に対し、十分な時間を割くことができなかった面もある。しかし、本校の特徴の一つである、きめ細かい生徒対応（カウンセリングマインドを持って、生徒に寄り添う対応）を心掛けた結果、生徒並びに保護者の学校に対する満足度は、昨年と比較するとやや減少したものの、想定以上であった。 【アンケート結果について】 回答の依頼を複数回行うなどアンケート回収に努めた結果、アンケート回収率が生徒63.9%・保護者65.3%になり、どちらも昨年度を上回る結果となった。アンケート結果としては、生徒・保護者とも、本校の教育活動に対しおおむね満足している結果を得ることができた。評価指標を下回った取り組みについては、3年目以降改善することが、当面の課題であると認識している。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 生徒の実態に応じた教育システムを確立する	（１）生徒並びに保護者が、相談しやすい環境を整備する。	・生徒支援と生徒並びに保護者への相談体制の強化・充実に努める。	ア．生徒向けアンケート「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。」の肯定的評価 70％以上をめざす。 イ．生徒向けアンケート「先生は生徒の意見を聞いてくれる。」の肯定的評価 70％以上をめざす。 ウ．保護者向けアンケート「先生は、生徒の意見を聞いてくれて、子どもを理解している。」の肯定的評価 70％以上をめざす。	ア．生徒向けアンケート「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。」の肯定的評価 76.9％であった。（○） イ．生徒向けアンケート「先生は生徒の意見を聞いてくれる。」の肯定的評価 100％であった。（◎） ウ．保護者向けアンケート「先生は、生徒の意見を聞いてくれて、子どもを理解している。」の肯定的評価 92.8％であった。（◎）
	（２）レポート等わからない問題について、気軽に質問しやすい環境を整える。	・レポートに限らず、生徒がわからない問題がある場合、質問しやすい環境を整える。	ア． 生徒向けアンケート「授業が分かりやすく学校に行くのが楽しい。」の肯定的評価 80％以上をめざす。 イ．保護者向けアンケート「子どもは、授業が分かりやすく、学校に行くのが楽しいと言っている。」の肯定的評価 70％以上をめざす。	ア．生徒向けアンケート「授業が分かりやすく学校に行くのが楽しい。」の肯定的評価 80.8％であった。（○） イ．保護者向けアンケート「子どもは、授業が分かりやすく、学校に行くのが楽しいと言っている。」の肯定的評価 64.3％であった。（△）
2 「確かな学力」を身に付けた上で、高校卒業資格を取得できるよう支援する	（１）各年次段階に応じて「確かな学力」を身に付けさせる。	・卒業後の進路を各自で思い描けるよう、「確かな学力」を身に付けさせる。	ア．生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い。」の肯定的評価 80％以上をめざす。 イ．生徒向けアンケート「選択科目の時間は工夫されていて、自分が学びたいことがらを選べる。」の肯定的評価 80％以上をめざす。	ア．生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い。」の肯定的評価 84.6％であった。（○） イ．生徒向けアンケート「選択科目の時間は工夫されていて、自分が学びたいことがらを選べる。」の肯定的評価 88.4％であった。（○）
	（２）進路指導内容の充実により、進路実績の向上をめざす。	・進路指導部会を通し、進路指導内容の充実を図る。	ア．生徒向けアンケート「学校は、進路についての情報を知らせてくれる。」の肯定的評価 70％以上をめざす。 イ．保護者向けアンケート「学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。」の肯定的評価 70％以上をめざす。 ウ．保護者向けアンケート「学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。」の肯定的評価 70％以上をめざす。	ア．生徒向けアンケート「学校は、進路についての情報を知らせてくれる。」の肯定的評価 92.3％であった。（◎） イ．保護者向けアンケート「学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。」の肯定的評価 75.0％であった。（○） ウ．保護者向けアンケート「学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。」の肯定的評価 67.9％であった。（△）

3 人権教育等を通して心の教育の充実に努める	(1) 他者の長所と短所を受け入れ、個性等を理解する力を育成し、自己肯定感を高める。 (2) すべての命を大切にすることを教育を行う。	・地域交流等を通して自己肯定感を高め、他者を尊重する姿勢を身に付けさせる。 ・LHR等を活用し、互いの人権を尊重することの大切さを理解させる。	ア. 生徒の要望に応え、地域と協力して文化祭を開催する。 ア. 保護者向けアンケート「学校は、子どもに命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 イ. LHRを活用し、インターネットと人権について学習する。	ア. 入学時に実施した生徒アンケートで、生徒の要望が多かった文化祭を「潮騒祭」という名称で、9月23日に実施した。地域住民の方々にも、学校を認知していただく良い機会として、企画にも協力いただき、大盛況で終えることができた。(◎) ア. 保護者向けアンケート「学校は、子どもに命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」の肯定的評価 82.1%であった。(◎) イ. LHRを活用し、すべての学年で、「インターネットと人権について」学習した。(○)
4 通学意欲を喚起し、生徒間の親睦並びに相互交流を促す	(1) 生徒が、興味関心のある多様なトライアルアワーの開講に努める。 (2) 学校行事を通し、仲間意識の涵養に努める。	・生徒にアンケートを実施し、興味のあるトライアルアワー等を企画する。 ・スポーツ大会や文化祭など各種行事を通して、生徒間の交流を深め、仲間意識の涵養に努める。	ア. 生徒向けアンケート「トライアルアワーに積極的に取り組んでいる。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 ア. 生徒向けアンケート「学園祭や校外学習などの行事は、楽しく行えるよう工夫されている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 イ. 保護者向けアンケート「学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。	ア. 生徒向けアンケート「トライアルアワーに積極的に取り組んでいる。」の肯定的評価 73.1%であった。(○) ア. 生徒向けアンケート「学園祭や校外学習などの行事は、楽しく行えるよう工夫されている。」の肯定的評価 92.3%であった。(◎) イ. 保護者向けアンケート「学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。」の肯定的評価 85.7%であった。(◎)

5 情報発信・広報活動に充実に努める	(1) 生徒・保護者への、情報発信並びに情報共有に努める。	・学校ホームページ、個人メール、チャット等を活用し、生徒だけでなく保護者への情報発信並びに情報共有に努める。	ア. 生徒向けアンケート「評価の仕方や基準について、事前に示されており、学習の評価については、納得できる。」の肯定的評価 80%以上をめざす。 イ. 生徒向けアンケート「学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 ウ. 生徒向けアンケート「学校からの連絡をきちんと確認している。」の肯定的評価 80%以上をめざす。 エ. 保護者向けアンケート「学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。」の肯定的評価 80%以上をめざす。 オ. 保護者向けアンケート「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。	ア. 生徒向けアンケート「評価の仕方や基準について、事前に示されており、学習の評価については、納得できる。」の肯定的評価 96.2%であった。(◎) イ. 生徒向けアンケート「学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。」の肯定的評価 57.7%であった。(△) ウ. 生徒向けアンケート「学校からの連絡をきちんと確認している。」の肯定的評価 84.7%であった。(○) エ. 保護者向けアンケート「学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。」の肯定的評価 85.7%であった。(○) オ. 保護者向けアンケート「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。」の肯定的評価 89.3%であった。(◎)
	(2) 本校の教育活動を、近隣中学校に限らず、広く紹介出来る様な広報活動に努める。	・中学校訪問や教育相談会を活用し、本校の教育活動の理解の輪を広げるよう努力する。	ア. 中学校訪問を 50 校以上実施する。 イ. オープンスクールをはじめ教育相談会を 10 回程度開催する。	ア. 53 校の中学校訪問を実施した。(◎) イ. オープンスクール 10 回、合同教育相談会 7 回、教育相談を随時開催した。(◎)
6 安心して学校生活を送れるよう最大限の配慮をする	(1) 防犯・防災教育の充実を図る。	・避難訓練をはじめ、災害時に適切に対応できる防犯・防災教育を実施する。	ア. 生徒向けアンケート「学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 イ. 保護者向けアンケート「地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 ウ. 保護者向けアンケート「学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。	ア. 生徒向けアンケート「学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。」の肯定的評価 65.4%であった。(△) イ. 保護者向けアンケート「地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。」の肯定的評価 57.1%であった。(△) ウ. 保護者向けアンケート「学校は、防災や防犯、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。」の肯定的評価 64.3%。であった。(△)
	(2) 安心・安全の学校生活と相談体制の充実と強化を図る。	・スクールカウンセラーや公認心理師との連携を図る。また、養護教諭が常駐することにより、生徒がより安心して学校生活を送れるようにする。	ア. スクールカウンセラーや公認心理師との相談件数 8 件以上をめざす。 イ. 保護者向けアンケート「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。」の肯定的評価 70%以上をめざす。 ウ. 保護者向けアンケート「子どもの心身の健康について適切な指導を行っている。」の肯定的評価 70%以上をめざす。	ア. スクールカウンセラーや公認心理師との相談件数、生徒 4 件、保護者 6 件、合計 10 件。他に心理検査 2 件。(○) イ. 保護者向けアンケート「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。」の肯定的評価 92.8%であった。(◎) ウ. 保護者向けアンケート「子どもの心身の健康について適切な指導を行っている。」の肯定的評価 89.3%であった。(◎)